



企業プロフィール

- 設立：1982年
- 事業内容：ミツバチの飼育およびミツバチ製品の原料仕入事業、研究・開発事業、製造事業、通信販売事業
- 従業員数：グループ計 1,476名 (2015年5月現在)
- 年次有給休暇の取得率：70%
- 年間休日数：115日
- URL：http://www.3838.com/

リフレッシュ休暇、ボランティア休暇



一人ひとりの社員とその家族の人生を充実させるための休暇制度

- ポイント
- ① 社員と家族の人生を豊かにするため、リフレッシュ休暇制度を導入
  - ② 社員の自主的な社会貢献活動に有給の特別休暇を付与

ローヤルゼリーなどミツバチ製品の通信販売で知られる株式会社山田養蜂場は、養蜂から製造、研究・開発、通信販売のコールセンター、出荷に至るまで、多岐にわたる事業を自社で行っている。同社の原点は、創業者が心臓疾患を持った娘のためにローヤルゼリーの研究に取り組んだことにあり、創業の精神は「一人の人のために」だ。従業員も家族の一人と考え、個々の成長を願い、やりがいのある人生を送ってほしいという思いで運用しているという特別休暇制度について、総務部人事室副室長のお二人(松島寿夫さんと赤星敏明さん)にお話を伺った。

リフレッシュ休暇は家族との時間に

リフレッシュ休暇は10年以上前に設けられました。勤続10年目で3日間、20年目で5日間、30年目で10日間、有給の特別休暇を付与しています。導入の目的は、家族との時間を充実させながら長く勤めていただきたいということがひとつ。人生を振り返る機会に送ってほしいということがひとつです。当社は家族的な経営を志しており、社員とその家族の人生がより良いものになるようにという考え方が根本にあります。

毎年多くの従業員がリフレッシュ休暇を取得し、有意義に思い思いの時間を過ごしています。

リフレッシュ休暇と年次有給休暇の併用を推奨

リフレッシュ休暇は土日と組み合わせたり、年次有給休暇と組み合わせたりして大型連休にすることを大いに推奨しています。例えば、10年目の3日間でも、年次有給休暇を2日間取得して土日と合わせれば合計

で9日間の大型連休にもなります。

リフレッシュ休暇に限らず、飛び石連休の場合などは、連休にするために年次有給休暇の取得を人事から各部署に推奨し、部門長から社員に伝えていきます。社員は気兼ねなく取得しています。部署によって年次有給休暇の取得日数や取得率は異なりますが、しっかり年次有給休暇が取得できる環境は安定した雇用の維持につながっていると感じています。

ボランティア休暇は自主性と内容で付与

ボランティア活動について就業規則で会社が認めたものに関しては、ボランティア休暇として付与すると規定しており、活動内容によって臨機応変に対応しています。以前、近隣で山火事があった際、地元の消防団に所属する社員が夜通し消防活動をしていたので、その翌日に休めるようボランティア休暇を付与したことがあります。

もともとボランティアは自主的なものなので、社員の自主性や活動内容を鑑みて休暇を適用する可否かを判断しています。

その他にも当社は社員参加による社会貢献活動を積極的に行っています。ネパールでの植樹による自立支援活動、カンボジアでの教育支援活動のほか、国内外



赤星副室長と松島副室長

の学校に「みつばち文庫」と称した本の寄贈を続けており、これまでに延べ50,901校、592,298冊を寄贈してまいりました。

2011年の東日本大震災では、災害復興支援のために計9回、社員37名を累計71日間派遣しました。2004年の新潟県中越沖地震の復興支援にも参加しています。いずれも社内で希望者を募り、希望した社員が参加しました。

社員の人生を充実させる施策を

当社は「自創経営」という理念を掲げており、社員一人ひとりが主体的に行動し、学ぶことにより、目標を達成し、成長してもらい、その成長にやりがいを感じてもらおうことを目指しています。そのため、今後は例えば自主的なスキルアップなどに有給の特別休暇を認めるなどの対応を考えています。

今は多様な休暇制度が推奨されています。女性や高齢の従業員に対する制度なども参考に、社員一人ひとりの人生を充実させるために、また、家族との絆を深めるために会社としてできることは何かを考えて、目的のある休暇制度を検討していきたいと思っています。

休暇制度利用者の声

10年目のリフレッシュ休暇3日間に、年次有給休暇2日間と休日を合わせて1週間のお休みをいただきました。10年勤められたのも母のおかげなので、最初から休暇の半分は母のために、半分は自分のために使おうと決めていました。母に希望を聞いたところ「温泉に行きたい」とのことだったので温泉旅行に出かけることにしました。久しぶりに2人でゆっくりと時間を過ごすことができ、10年間の感謝を伝えることができました。

休暇の後半は、大学時代の友人と同窓会をしたり、その

頃取得しようとしていた資格に関するセミナーに参加して、自分の時間として充実させました。

家族のためにも自分のためにも時間を使うことができ、大変有意義なリフレッシュ休暇でした。

20年目にまたリフレッシュ休暇を頂いた際は、同じように家族旅行と、自分のために過ごしたいです。長くまとまった時間ができるので、合宿セミナーなどにも参加したいと考えています。

(リフレッシュ休暇制度利用者)